

# スピカBT (立平・横葺用換気棟) 《施工マニュアル》

金属屋根 (立平・横葺) 用自然換気棟

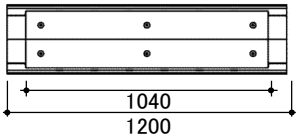
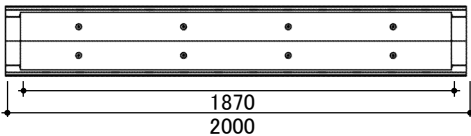




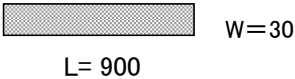
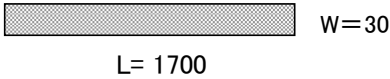
産業技術研究所防水性能試験  
27産総 第2-266号  
61

## ☆仕様

材質: ガルバリウムカラー鋼板

標準色: ブラック、ウッディーブラウン、シルバー、キングロ

梱包: 1ケース1本入り

品番	YY3002BT 3尺タイプ	YY3003BT 6尺タイプ
換気棟 本体		
捨水切 ・ 捨水切用 エンドキャップ	 L=900X2	 L=1700X2
ステンレス コーススレッド	 X 7本 (1本予備)	 X 9本 (1本予備)
野地板 開口寸法	 W=30 L= 900	 W=30 L= 1700
有効開口面積	301cm <sup>2</sup> /本	550cm <sup>2</sup> /本

■ 換気口は天井面積の 1/1,600、吸気口は天井面積の 1/900 を設計基準として設置本数を決定します。  
(住宅金融支援機構の小屋裏換気基準)

### ※施工上のご注意及び本製品使用地域について

- ・ 換気棟以外の施工要領については屋根材の施工説明書を参考にしてください。
- ・ 換気棟を踏みつけたり座ったりしないでください。破損や変形により雨漏り等の原因となります。
- ・ 換気棟を切断しないでください。又、割付や長さ調整は棟包で行ってください。
- ・ 換気棟は分解しないでください。組み直したり改造はズレ等で雨漏りの原因となります。
- ・ 屋根勾配は0.5寸～3寸勾配の範囲でご使用ください。  
3.5寸勾配以上の場合、開口箇所を換気部材が蓋をして換気できない場合がありますのでご注意ください。
- ・ 金属屋根 (立平・横葺) のみ使用出来ます。

又、下記の条件下においては、使用鋼板の耐食性を著しく低下させ、錆の発生及び促進させる可能性がありますので、ご使用時にはご注意ください。

- ・ 塩害・亜硫酸ガス・コンクリート・モルタル等アルカリ性物質などの影響がある場合。
- ・ 銅・鉛・合金類等、異種金属を使用した取付金具・付属物との接合がある場合 (電食による腐食発生)。
- ・ 銅・鉛等の物質を含有した薬剤処理物 (銅系防蟻処理木材など) との長期接触がある場合。
- ・ シンナーなど有機系溶剤が付着する場合。
- ・ 湖沼・河川・沿岸部などの周辺で常に水しぶきを浴びたり、雨露などで水分に接している場合や吸湿物との常時接触及び接合する場合 (濡れたままの状態)。

### 施工基準

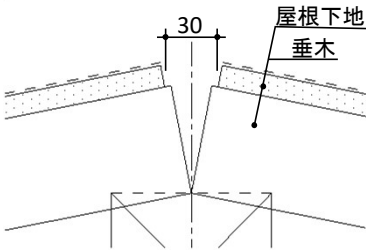
- ・ 設計者と十分打合せの上ご使用ください。
- ・ 施工前に部品、開口部の位置を十分ご確認ください。
- ・ 施工は、必ず専門業者が行ってください。



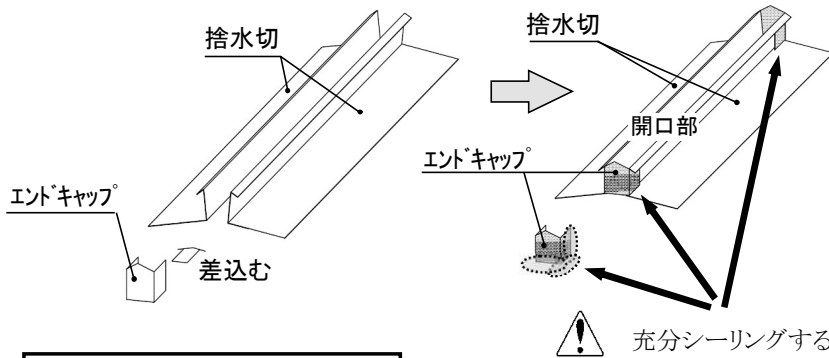
株式会社ハウゼコ  
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル6F  
T 06-4963-8266 F 06-4963-8267

# ☆施工手順(立平葺)

## 1. 開口部を開ける

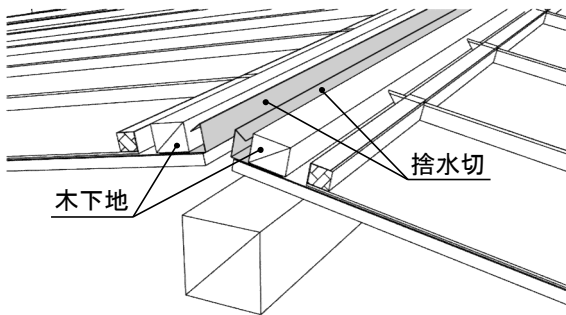


## 2. 捨水切を加工・取り付ける



## 3. 木材・屋根材を取り付ける

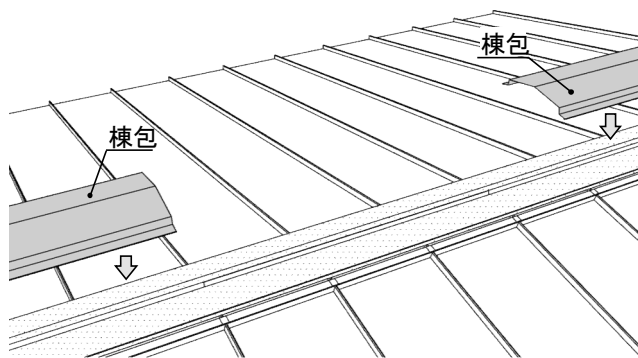
捨水切の両軒側に高さ30mm×幅40mmの木材を(表1)の①を参考に設置してください。木材を取り付ける際は、垂木に釘が打てる様に合わせて取り付けてください。



## 4. 換気棟の施工

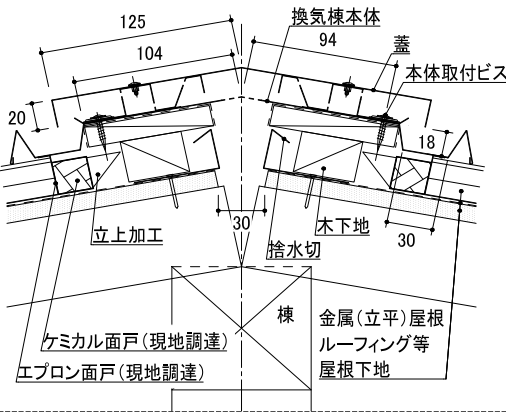
### ※棟包先、換気棟後施工

換気棟(本体)の取付穴は455mmピッチになっています。取付の際は、垂木に合わせて施工を行ってください。

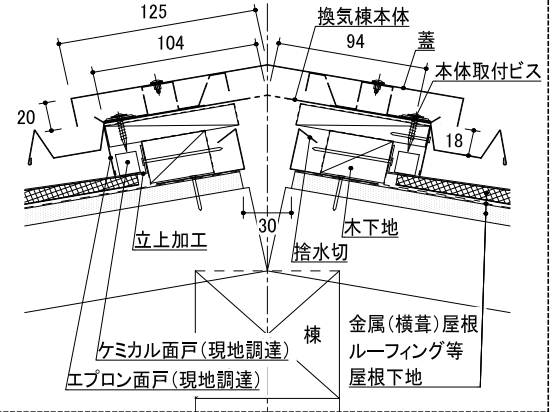


棟包(弊社製品YY161)の重ね寸法は50mm以上確保してください。重ね部は充分シーリングしてください。必ず同梱のステンレスコーススレッドをご使用ください。

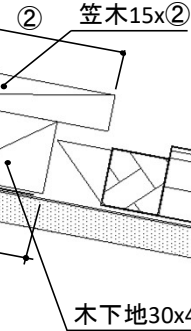
# 《立平葺納まり例》



# 《横葺納まり例》



## (参考)



(表1) 木下地の位置・サイズ (立平の場合)

勾配	①	②
0.5	75	85
1.0	73	84
1.5	70	83
2.0	68	82
2.5	65	81
3.0	63	80
3.5	60	79

屋根材を葺き上げた後、笠木(高さ15mm×幅は(表1)の②を参照)を設置してください。笠木を巻き上げるようにルーフィング等を下葺してください。※屋根材の施工は、屋根材の施工マニュアルをご参照ください。

